

議長 細矢仙三郎
書記 伊藤福衛

五各代表挨拶

第一席

東支柳島支部首脳部 多田利一

吾々、今回ノ斗争ハ組織ヲ変ヘ演説會ノ開催家族団ノ結
成ニ依ル組織ヲ以テ進ニテ居ル吾々ノ要求アルニ割値上
ケテ獲得スル迄ハ一步又退カヌ決意ヲ持テ 如何ナル困
難 如何ナル障害ニモ屈スズ倒レル迄戦フコトヲ諸君ニ
御誓ヒスルト同時ニ諸君ニ勇鼓ヲ斗争ヲ敢行サレシコトヲ
御願シテ御挨拶ニ代ハル

第二席

錦糸堀副支部長

大森 清

百年ノ計ト称シテ更生案ニ本年ノ赤字ヲ見テ如何ニイ
ンキキナルカヲ知ル事ハ出来ル 山下案ハ只爭議ヲ起サセ
市民ノ足ヲ奪フ夕外ニ何物モナイ働ク者ヨ団結セヨ我々

ノ先輩が築キ上ガタ労働条件ハ此ノ三四年内ニ總テ改
得ナル備高ノ手段ニ因ツテ奪取ナレ去ツタ 最後ニ昨年警
視廳當局ノ強制調停ハ中正ナルモノト思フガ ストニ這
入ルト時ニ此ノ落クナ取締が見ラレル 今度ハ役員が認
検ナレタヲ諸君ハ(中止)

第三席

東支執行委員長

中島喜三郎

私ガ曾ツテ若ク時船員ヲシタ當時「アラヌフ」ヨリ歟ル途
中船員デヤケレハ味ツコトカ出来ヌ果凡雨ニ置ツタ時テ
アル暗礁ノ箇所ヲ知ツテ居下ラシトフ避ケルニハ船ヲ横
ニセバナラヌ横ニスルハ船ハ沈没スル貨物ト私達ニ十
名ハ死ツク免レナイ 其ノ時ニ平常船長ニ不満ヲ有レテ居
タ爲 如何ニ死ヌナラ船長ヲ殺シテ死ヌ覺悟ヲ甲板ヲ駆
ケ上ツテ見ルハ船長素裸トナリテ コーポツ身体ニ巻キ
付ケテ居ル之レハ船ト運命ヲ共ニスル覺悟ヲアル此ノ様